

二級水系における「流域治水プロジェクト」の更新・公表について

1 要旨・目的

本県において流域治水を推進するため、二級水系における「流域治水プロジェクト」を策定し、流域における住民・企業等の理解促進や意識向上を図ることとしている。

このたび、流域治水協議会を3月27日に開催し、「流域治水プロジェクト」の取組内容等を更新・公表する。

2 現状・背景

本県では、気候変動による水災害の激甚化・頻発化に備え、河川・下水道の管理者が行う治水対策に加え、氾濫域も含む流域全体のあらゆる関係者（国・県・市町・企業・住民等）が協働し、流域全体で水害を軽減させる対策「流域治水」を推進しており、二級水系（47水系）においては、令和3年1月に流域治水協議会を設置し、流域全体で実施すべき対策の全体像を示した「流域治水プロジェクト」を策定しており、毎年開催する協議会において取組内容等の更新を行っている。

3 概要

(1) 対象者

二級水系における流域全体の住民・事業者等

(2) 事業内容（実施内容）

令和5年度においても流域治水協議会を開催し、流域全体で実施すべき対策の全体像を次の3つの対策の観点で、位置図やロードマップにとりまとめるとともに、各関係者による取組内容を写真や図面などを用いてわかりやすく示した「流域治水プロジェクト」を更新する。

対策の観点	概要	取組内容（例）
① 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	氾濫を防ぐ堤防等の治水施設や流域の貯留施設等の整備	・河川改修 ・利水ダム等における事前放流の実施、体制構築 ・雨水排水施設、雨水貯留施設の整備 ・農地等の保全 ・森林整備、治山事業 等
② 被害対象を減少させるための対策	氾濫した場合を想定して被害を回避するためのまちづくりや住まい方の工夫等	・立地適正化計画の策定（改定）・運用 ・浸水ハザードエリア等における開発許可の厳格化 等
③ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	氾濫の発生に際し、確実な避難や経済被害軽減、早期の復旧・復興のための対策	・洪水、内水ハザードマップの作成、周知 ・出前講座等を活用した防災教育 ・要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び活用の促進 ・水防訓練の実施 等

(3) スケジュール

ア 協議会の開催日時等

開催日時	開催方法	出席者
令和6年3月27日（水） 11:00～11:30	Web（3ブロック合同）	別紙1参照

（議題）

- ・流域治水プロジェクトの更新について
- ・「広島県流域治水シンポジウム」の開催報告について
- ・次年度以降の流域治水の取組内容について 等

イ 「流域治水プロジェクト」の公表

協議会の意見等を踏まえて更新した「流域治水プロジェクト」を3月29日(金)に県ホームページにて公表予定。 【別紙2参照(令和4年度版)】

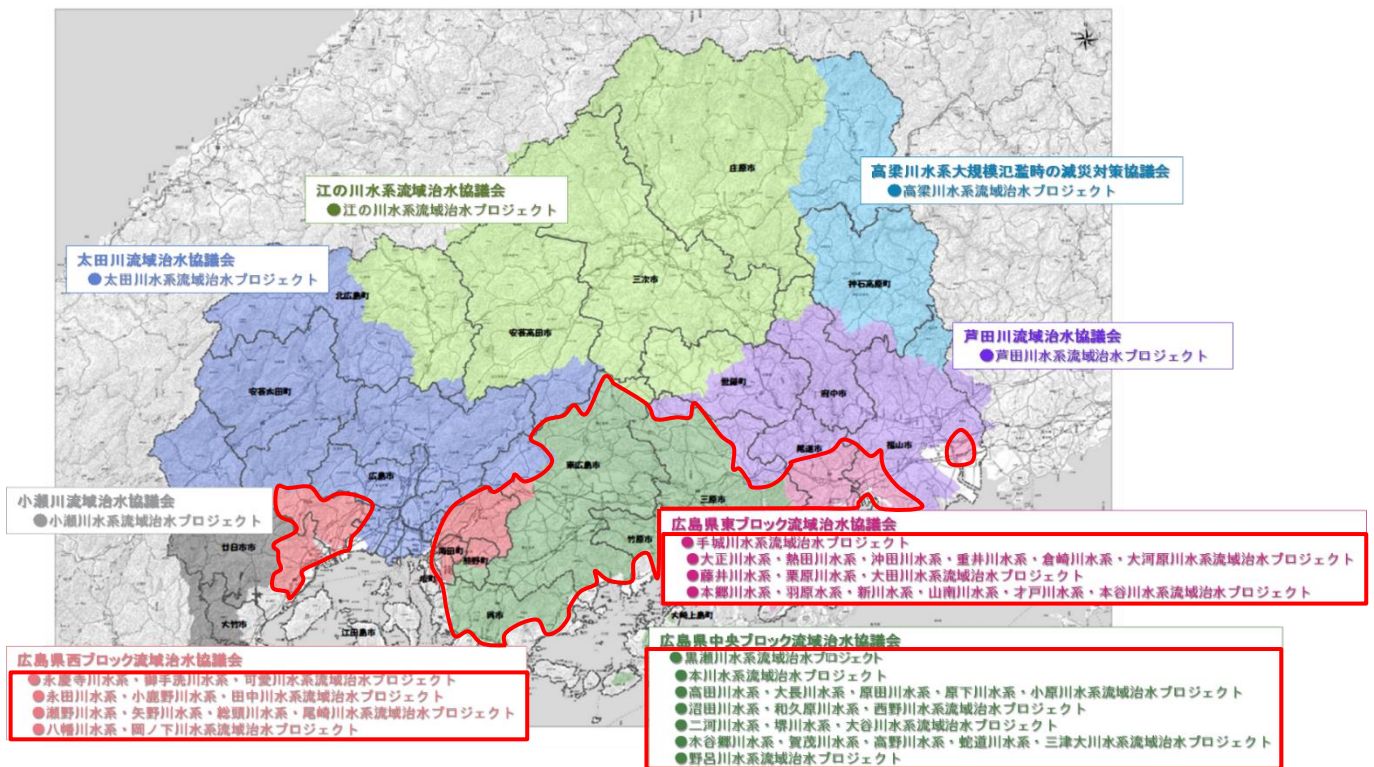
<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/99/ryuikichisui-project.html>

(4) 予算(単県)

約4,000千円

4 今後の対応

引き続き、流域治水協議会を通じて、各分野における支援制度や全国プロジェクトにおける取組事例等の情報共有などを進めるとともに、流域治水シンポジウムや流域治水に取り組んでいる実務担当者の会議を開催するなど、あらゆる関係者の意識醸成を図り、流域治水を強力に推進する。



流域治水協議会構成員

広島県東ブロック流域治水協議会	
(委員)	広島県東部建設事務所長
	広島県東部建設事務所三原支所長
	広島県農林水産局林業課長
	広島県農林水産局森林保全課長
	広島県農林水産局農業基盤課長
	三原市長
	尾道市長
	福山市長
	(国研)森林研究・整備機構 森林整備センター広島水源林整備事務所長

広島県中央ブロック流域治水協議会	
(委員)	広島県西部建設事務所長
	広島県西部建設事務所呉支所長
	広島県西部建設事務所東広島支所長
	広島県東部建設事務所三原支所長
	広島県農林水産局林業課長
	広島県農林水産局森林保全課長
	広島県農林水産局農業基盤課長
	呉市長
	竹原市長
	三原市長
	東広島市長
	熊野町長
	大崎上島町長
	林野庁近畿中国森林管理局広島森林管理署山地災害復旧対策室長
(国研)森林研究・整備機構 森林整備センター広島水源林整備事務所長	
中国電力株式会社西部水力センター所長	

広島県西ブロック流域治水協議会	
(委員)	広島県西部建設事務所長
	広島県西部建設事務所廿日市支所長
	広島県農林水産局林業課長
	広島県農林水産局森林保全課長
	広島県農林水産局農業基盤課長
	広島市都市整備局長
	広島市下水道局長
	廿日市市長
	江田島市長
	海田町長
	熊野町長
	坂町長
	国土交通省中国地方整備局広島西部山系砂防事務所長
	林野庁近畿中国森林管理局広島森林管理署山地災害復旧対策室長
	(国研)森林研究・整備機構 森林整備センター広島水源林整備事務所長

- 平成30年7月豪雨で甚大な被害が発生した手城川水系では、平成7年7月に発生した豪雨を目標とする整備計画の実施に加えて、平成29年9月豪雨(短期集中降雨)の降雨50(mm/60分)及び平成30年7月豪雨(長期継続降雨)の降雨243(mm/24h)と同規模の降雨に対し100mm/h安心プランを策定し、流域における床上浸水被害の解消を図る。
- 堤防や河道掘削等河川整備のほか、田んぼダムやため地を活用した雨水の貯留などの流域対策を推進し氾濫をできるだけ防ぐ。
- 氾濫した場合を想定して土地利用規制や居住誘導、不動産取引時のリスク情報提供などを実施することにより、被害対象を減少させる。
- 河川情報の充実やハザードマップの作成・周知、出前講座の実施などにより、確実な避難や経済被害の軽減、早期復旧復興に努める。

■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ①洪水氾濫対策【広島県、福山市】
- ②ダム等の洪水調節機能の強化※この水系にダムはありません。
- ③内水氾濫対策【福山市】
- ④雨水貯留機能の向上【福山市】
- ⑤山地の保水機能の向上【広島県】
- ⑥土砂流出対策【広島県】

■被害対象を減少させるための対策

- ⑦水災害リスクを考慮したまちづくり・住まい方の工夫
- ・立地適正化計画の改定・運用【福山市】
- ・浸水ハザードエリア等における開発許可の厳格化【福山市】
- ・止水板の設置補助【福山市】



プロジェクト進捗度

手城川水系

※進捗度の考え方には以下が基礎



止水域設置補助制度(ハフレット)

自宅や店舗等に止水域の設置をお考えの方へ

最大 50 万円の補助が受けられます！

止水板とは

災害時に雨水が逆流するのを、止水域の設置により防止し、建物や敷地内への浸水被害を軽減します。

対象地域

福山市内(一部を除く)及び広島県内(一部を除く)の指定地域

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合があります。



- 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
- ⑧ハザードマップの作成・周知
 - ・洪水・内水ハザードマップの作成・周知【福山市】
 - ・出前講座等を活用した防災教育【広島県、福山市】
 - ・マイ・タイムラインの作成及び活用の促進【福山市】
 - ⑨高齢者等避難の実効性の確保
 - ・要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び活用の促進【福山市】
 - ・避難行動要支援者への支援【福山市】
 - ⑩防災体制の強化
 - ・情報伝達手段の多重化促進【福山市】
 - ・水防訓練の実施【福山市】
 - ・関係機関との各種連携【広島県、福山市】

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合があります。

- 手城川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、県、市、住民が一体となって次の手順で「流域治水」を推進する。
- 【短期】平成29年9月及び平成30年7月豪雨相当の降雨に対し床上浸水を解消するため、河道掘削や排水機場の整備、雨水幹線・雨水ポンプ場整備を実施。
- 【中期・中長期】更に流域全体の安全度を向上させるため、平成7年7月豪雨相当の降雨に対しても床上浸水の解消に向けて引き続き河道掘削等を実施。あわせて逃げ遅れゼロを目指した、浸水想定区域の指定・公表や危険箇所の周知、危機管理型水位計および河川監視カメラの設置等、的確な避難行動につながるようソフト対策の充実を図る。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	①洪水氾濫対策	広島県	排水機場ポンプ増設		河川改修(手城川)
		福山市	河川改修(谷地川)	100mm/h安心プラン	
	③内水氾濫対策	福山市	雨水排水施設の整備		
		福山市			雨水貯留施設の浚渫
	④雨水貯留機能の向上	福山市			貯留施設の低水位管理等
		福山市			
⑤山地の保水機能の向上	広島県			森林整備、治山事業	
⑥土砂流出対策	広島県			砂防堰堤等の整備	
被害対象を減少させるための対策	⑦水災害リスクを考慮したまちづくり・住まい方の工夫	福山市	防災指針策定		立地適正化計画の改定・運用
		福山市	開発許可の厳格化済		
		福山市			浸水ハザードエリア等における開発許可の厳格化の運用
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	⑧ハザードマップの作成・周知	福山市、(広島県)	洪水ハザードマップ作成		出前講座等にて周知
		福山市			内水ハザードマップ作成
	⑨高齢者等避難の実効性の確保	福山市			要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び活用の促進
		広島県、福山市			関係機関との各種連携
⑩防災体制の強化	広島県、福山市				

■事業規模

河川対策 (約78億円)

下水道対策 (約159億円)

気候変動を踏まえた
更なる対策を推進

プロジェクト進捗度の考え方

- PHASE1 流域の関係者が治水対策を進めている段階
- PHASE2 流域のあらゆる関係者が様々な治水対策を進めている段階
- PHASE3 流域で流量を分担するなど、流域のあらゆる関係者が様々な治水対策を計画的に進めている段階

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合があります。

河川改修



- 手城川水系手城川は、平成30年7月豪雨において、最大日雨量243mm(最大時間雨量29mm)の降雨により、甚大な浸水被害が発生した。
- 令和元年9月に河川管理者(広島県・福山市)と下水道管理者(福山市)が共同で100mm/h安心プランを策定し、令和5年度までの床上浸水被害の解消を目指す。(河道掘削等を実施)

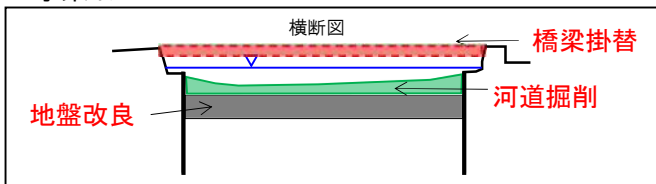
位置図



事業内容

河川名 : 二級河川手城川水系手城川
 事業内容 : 河道掘削、橋梁架替
 事業期間 : R2~R5
 事業主体 : 広島県
 施工地 : 福山市

事業イメージ



写真①
手城川

写真②
手城川

写真③
手城川

山陽新幹線
山陽自動車道
鴨目池

<福山市> 雨水ポンプ場整備
 <広島県> 防災・安全交付金 河道拡幅
 <福山市> 谷地川事業間連携河川事業 河川改修
 <広島県> 手城川事業間連携河川事業 河道掘削 L=300m+橋梁1基
 <広島県> 手城川大規模特定河川事業 排水機増設

■ : 浸水範囲(H30.7)

雨水貯留施設の整備



- 松永町二丁目が発生している浸水被害を軽減するため、松永中学校のグラウンドの地下に雨水を一時的に貯留する施設を整備した。

実施期間

令和元年度～令和3年度

位置図



断面図・容量



施工前



施工状況



施工後



水災害リスクを考慮したまちづくり・住まい方の工夫

止水板の設置に対する助成



- 近年、集中豪雨が増加し、浸水被害が多発していることから、市民が自ら行う浸水被害の軽減対策として、**止水板設置費用の一部を本市が補助する制度を導入。**

■事業概要

・宅地内への雨水の浸入を防止するため、広島市の市街化区域で過去に浸水被害があった場所又は浸水被害が発生するおそれがある場所を対象に、止水板の購入や設置に掛かる費用の一部を補助(令和2年度より開始)。

■補助額

- ・止水板の購入や設置工事に掛かる費用の2分の1を補助。
- ・補助金の上限は50万円。

■設置状況



■補助制度の申請件数

R2	R3	R4	累計
27件	19件	13件	59件

ハザードマップの作成・周知

洪水・内水ハザードマップの作成・周知、河川監視カメラの設置、出前講座等を活用した防災教育、マイ・タイムラインの作成及び活用の促進



- **ハザードマップの作成・周知、出前講座等を通して、災害に応じた適切な避難行動をとれることを目的とする。**

■事業概要

- ・ハザードマップの作成(平成18年度～)
- ・河川監視カメラの設置(平成28年度～)
- ・出前講座を活用した防災教育
- ・ひろしまマイ・タイムラインの推進(令和2年度～)

■事業効果

- ・正確な情報把握
- ・市民への避難指示などの情報提供
- ・自主防災活動の支援
- ・市民の防災力向上を図る

■ハザードマップ



東広島市ハザードマップ 【新】中小河川ハザードマップ(令和4年5月配布)

■河川観測情報の公開



■VR教材(消防局)



サンプル映像 <https://youtu.be/CH8zipzK8kQ>

■ひろしまマイ・タイムライン



住民一人ひとりの「防災行動計画」様々な防災行動を時系列で整理したもの